様式第１号（第５条関係）

番　　　　　号

年　　月　　日

　佐賀県知事　　　　　　　　　　　　様

申請者　所　在　地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 グループ名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 代表者職・氏名

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業申込書兼助成金交付申請書

下記のとおり、韓国全羅南道女性団体との交流支援事業を実施したいので、佐賀県補助金等交付規則及び令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金交付要綱の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

記

１　事業費総額　　　　　　　　　　　　　　　　金　　　　　　　　　　円

２　交付を受けようとする助成金の額　　　　　　金　　　　　　　　　　円

２　事業計画書（別紙１）

４　収支予算書（別紙２）

５　所要見込額調書（別紙３）

６　グループ概要（別紙４）

７　誓約書（別紙５）

８　その他必要な書類

（別紙１）

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業　事業計画書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 派遣　　　・　　　招へい  ※　いずれかに○ | | |
| 企画名 |  | | |
| 実施目的 | 公開企画で実施する内容にあてはまる「第５次佐賀県男女共同参画基本計画」の重点目標に☑をつけてください。※複数選択可  □　１　男女共同参画について男女双方の意識の形成  □　２　幼少期からの男女共同参画について男女双方の意識の形成  □　３　男女間のあらゆる暴力の根絶  □　４　生涯を通じた男女の健康支援  □　５　生活に困難を抱えたあらゆる人が安心して暮らせる支援と多様性を尊重する環境の整備  □　６　防災・復興における男女共同参画の推進  □　７　女性の活躍推進と男性の意識改革・行動変革  □　８　政策・方針決定過程への女性の参画の推進  □　９　仕事と家庭・地域生活が両立する環境づくり | | |
| 何を目的として実施し、それが男女共同参画の推進にどのようにつながるのかを記入してください。 | | |
| 内容 | 実施する企画（公開企画、会員等対象の企画、視察等）の内容、公開企画の講師やパネリスト（氏名、肩書き等）を記入してください。 | | |
| 交流する団体  の名称 |  | | |
| スケジュール | 月日 | 行　動　計　画 | |
|  |  | |
|  |  | |
|  |  | |
|  |  | |
|  |  | |
| 参加費 | □　有料（　　　　　　円）  □　無料 | | 参加費の使途を記入してください。 |
| 効果 | 本事業を実施することで期待される効果を記入してください。 | | |

（別紙２）

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業　収支予算書

○収入の部

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | | 予算額 | 備考 |
| 県助成金 | | 円 |  |
| 寄付金その他の収入 | 他の団体等からの助成金 | 円 | ※団体名を記入 |
|  | 円 |  |
| 小計 | 円 |  |
| 自己資金 | | 円 |  |
| 計 | | 円 |  |

　○支出の部

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | | 事業費  （予算額） |  | 左のうち  助成対象事業費 |
| 積算内訳（単価×数量＝合計） |
| 旅費 | | (a)  円 |  | (b)  円 |
| 旅費以外の経費 | 報償費 | 円 |  | 円 |
| 需用費 | 円 |  | 円 |
| 役務費 | 円 |  | 円 |
| 使用料 | 円 |  | 円 |
| その他 | 円 |  | 円 |
| 小計 | | (c)  円 |  | (d)  円 |
| 合計 | | 円 |  | 円 |

（別紙３）

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業　所要見込額調書

（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | 事業費総額 | 助成対象  事業費 | 助成対象額 | 要綱に掲げる  助成限度額 | 助成金額 |
| Ｃ又はＤのいずれか低い額 |
|  | Ａ | Ｂ | Ｃ＝Ｂ×助成率 | Ｄ | Ｅ |
| 旅費 | (a) | (b) | Ｂ×1/2又は10/10 |  |  |
| 旅費以外の経費 | (c) | (d) | Ｂ×10/10 |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

※　Ａ列の旅費の欄には別紙２収支予算書の(a)欄の数字を、Ａ列の旅費以外の経費の欄には別紙２収支予算書の(c)欄の数字を、Ｂ列の旅費の欄には別紙２収支予算書の(b)欄の数字を、Ｂ列の旅費以外の経費の欄には別紙２収支予算書の(d)欄の数字をそれぞれ転記すること。

※　Ｅ欄の金額に１，０００円未満の端数が生じる場合は、これを切り捨てた金額を記入すること。

（別紙４）

グループ概要

|  |  |
| --- | --- |
| （ふりがな） |  |
| グループ名 |  |
| 事務局所在地 | 〒 |
|  |
| （ふりがな） |  |
| 代表者名 |  |
| 本申請に係る連絡先 | 担当者氏名（　　　　　　　　　　　　）  電話番号（勤務先・自宅・携帯）　　　　－　　　　－  　　　　（勤務先・自宅・携帯）　　　　－　　　　－  ＦＡＸ番号　　　　　　　　　　　　　　－　　　　－  メールアドレス |
| 会員数／設立等年月日 | 人　／　　　　　年　　　月　　　日 |
| グループの活動目的 |  |

（別紙５）

誓　　　約　　　書

私は、下記の事項について誓約します。

　　なお、県が必要な場合には、佐賀県警察本部に照会することについて承諾します。

　　また、照会で確認された情報は、今後、私が県と行う他の契約等における身分確認に利用することに同意します。

　記

　１　自己又は自社の役員等が、次のいずれにも該当する者ではありません。

　　(1)　暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第77号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

　　(2)　暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）

　　(3)　暴力団員でなくなった日から５年を経過しない者

　　(4)　自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者

　　(5)　暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者

　　(6)　暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

　　(7)　暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者

２　１の(2)から(7)までに掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

佐賀県男女参画・女性の活躍推進課長　様

　　　　　　　　　　　　〔 法人、団体にあっては事務所所在地 〕

　　　　　　　住　　所

　　　　　　 　　　　　 〔 法人、団体にあっては法人・団体名、代表者名 〕

　　　　　　（ふりがな）

　　　　　　　氏　　名

　　　　　　　生年月日　（明治・大正・昭和・平成）　　　 年　　　月　　　日

責任者自署欄（※）

※　氏名欄は、本人が自署すること。ただし、申請者が法人の場合は、本申請に係る責任者の氏名の自署を付記し、法人代表者の氏名を記名とすることができる。

様式第２号（第６条関係）

番　　　　　号

年　　月　　日

　佐賀県知事　　　　　　　　　　　　様

申請者　所　在　地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　グループ名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金変更承認申請書

令和　　年　　月　　日付け　　第　　　　号で助成金交付決定通知のあった令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金について、下記の理由により事業の内容及び経費を変更し〔金　　　　　　　　円の追加交付（減額承認）を受け〕たいので、佐賀県補助金等交付規則及び令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金交付要綱の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

記

変更理由

注１）金額の変更のない変更申請の場合は、〔　　〕は削除すること。

注２）関係書類は、助成金交付申請書に準じて作成し、変更前の事業の内容及び経費の配分と変更後の事業の内容及び経費の配分を比較できるようにすること。

様式第３号（第６条関係）

番　　　　　号

年　　月　　日

　佐賀県知事　　　　　　　　　　　　様

申請者　所　在　地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　グループ名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業

助成金に係る助成事業の中止（廃止）承認申請書

令和　　年　　月　　日付け　　第　　　　号で助成金交付決定通知のあった令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業について、下記の理由により中止（廃止）したいので、佐賀県補助金等交付規則及び令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金交付要綱の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

記

１　中止（廃止）する理由

２　中止の期間（廃止の始期）

様式第４号（第７条関係）

番　　　　　号

年　　月　　日

　佐賀県知事　　　　　　　　　　　　様

申請者　所　在　地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　グループ名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金実績報告書

令和　　年　　月　　日付け　　第　　　　号で助成金交付決定通知のあった令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金について、下記のとおり実施したので、佐賀県補助金等交付規則及び令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金交付要綱の規定に基づき、関係書類を添えて報告します。

記

１　事業実績書（別紙１）

２　収支決算書（別紙２）

３　所要額調書（別紙３）

４　事業完了年月日

５　その他必要な書類（領収書、事業内容が分かる写真や成果品など）

注１）印鑑は助成金交付申請時と同じものを使用すること。

注２）提出された領収書は、支出明細書と照合確認後、返却する。

（別紙１）

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業　事業実績書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 企画名 |  | |
| 企画の概要  （日程、内容等） | ※　配布した（された）プログラムや資料、写真等を添付 | |
| 交流した団体の名称 |  | |
| 派遣（招へい）者の役職名・氏名 | 役　職　名 | 氏　　名 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 計　　　　名  ※　欄が不足する場合は、別途名簿を添付すること。 | |
| 企画の成果等 | ・目的の達成状況  ・見えてきた課題等  ・今後の取組 | |

（別紙２）

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業　収支決算書

○収入の部

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | | 予算額 | 決算額 | 差引増減額 | 備考 |
| 県助成金 | | 円 | 円 | 円 |  |
| 寄付金その他の収入 | 他の団体等  からの助成金 | 円 | 円 | 円 |  |
|  | 円 | 円 | 円 |  |
| 小計 | 円 | (a) 　　　　円 | 円 |  |
| 自己資金 | | 円 | 円 | 円 |  |
| 計 | | 円 | 円 | 円 |  |

○支出の部

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | 予算額 | 決算額 | 差引増減額 | 備考 |
| 旅費 | 円 | 円 | 円 |  |
| 報償費 | 円 | 円 | 円 |  |
| 需用費 | 円 | 円 | 円 |  |
| 役務費 | 円 | 円 | 円 |  |
| 使用料 | 円 | 円 | 円 |  |
| その他 | 円 | 円 | 円 |  |
| 計 | 円 | 円 | 円 |  |

《支出明細書》

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | | 決算額 |  | 左のうち  助成対象  事業費 | 領収書  番号 |
| 積算内訳（単価×数量＝合計） |
| 旅費 | | (a)  円 |  | (b)  円 |  |
| 旅費以外の経費 | 報償費 | 円 |  | 円 |  |
| 需用費 | 円 |  | 円 |  |
| 役務費 | 円 |  | 円 |  |
| 使用料 | 円 |  | 円 |  |
| その他 | 円 |  | 円 |  |
| 小計 | | (c)  円 |  | (d)  円 |  |
| 合計 | | 円 |  | 円 |  |

※　「助成対象」欄に金額を記載した支出に係る領収書を添付すること。

（別紙３）

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業　所要額調書

（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | 事業費総額 | 助成対象  事業費 | 助成対象額 | 要綱に掲げる  助成限度額 | 助成金額 |
| Ｃ又はＤのいずれか低い額 |
|  | Ａ | Ｂ | Ｃ＝Ｂ×助成率 | Ｄ | Ｅ |
| 旅費 | (a) | (b) | Ｂ×1/2又は10/10 |  |  |
| 旅費以外の経費 | (c) | (d) | Ｂ×10/10 |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |

※　Ａ列の旅費の欄には別紙２収支予算書の(a)欄の数字を、Ａ列の旅費以外の経費の欄には別紙２収支予算書の(c)欄の数字を、Ｂ列の旅費の欄には別紙２収支予算書の(b)欄の数字を、Ｂ列の旅費以外の経費の欄には別紙２収支予算書の(d)欄の数字をそれぞれ転記すること。

※　Ｅ欄の金額に１，０００円未満の端数が生じる場合は、これを切り捨てた金額を記入すること。

様式第５号（第８条関係）（精算払様式）

番　　　　　号

年　　月　　日

　佐賀県知事　　　　　　　　　　　　様

申請者　所　在　地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　グループ名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金交付請求書

令和　　年　　月　　日付け　　第　　　　号で額の確定通知のあった令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金として、下記の金額を交付されるよう佐賀県補助金等交付規則及び令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金交付要綱の規定に基づき、請求します。

記

請求額　　　金　　　　　　　　　　　円

○振込口座

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ |  | | |
| 口座名義 |  | | |
| 金融機関・支店名 |  | | |
| 預金種別 | 普通・当座 | 口座番号 |  |

注）口座名義（フリガナ）欄は、預金通帳を確認の上、記載のとおり正確に記入すること。

様式第６号（第８条関係）（概算払様式）

番　　　　　号

年　　月　　日

　佐賀県知事　　　　　　　　　　　　様

申請者　所　在　地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　グループ名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金交付請求書

平成　　年　　月　　日付け　　第　　　　号で交付決定通知のあった令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金のうち、下記の金額を交付されるよう佐賀県補助金等交付規則及び令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金交付要綱の規定に基づき、請求します。

記

請求額　　　　金　　　　　　　　　円

（内訳）交付決定額　　金　　　　　　　　　円

交付済額　　　金　　　　　　　　　円

今回請求額　　金　　　　　　　　　円

残　　額　　　金　　　　　　　　　円

○振込口座

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ |  | | |
| 口座名義 |  | | |
| 金融機関・支店名 |  | | |
| 預金種別 | 普通・当座 | 口座番号 |  |

注）口座名義（フリガナ）欄は、預金通帳を確認の上、記載のとおり正確に記入すること。委　　任　　状

受任者　住所又は所在地

所　　属　　名

役職名・氏　名

　上記の者を代理人と定め、佐賀県から交付される令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金の受領に関する権限を委任します。

令和　　年　　月　　日

　　　佐賀県知事　様

委任者　住所又は所在地

所　　属　　名

役職名・氏　名

様式第７号（第９条関係）

番　　　号

年　月　日

　佐賀県知事　様

申請者住所

氏名

令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金

消費税等仕入控除税額の確定に伴う報告書

令和７年○○月○○日付け○第○○号で額の確定通知があった令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金について、消費税等仕入控除税額が確定したの

で、令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金交付要綱の規定により報告します。

１　助成金額（令和７年度韓国全羅南道女性団体との交流支援事業助成金交付要綱第９条による額の確定）　　　　　　　　　　　　　　　　　　金　　　　円

２　助成金の額の確定時における消費税等仕入控除税額　　　　　金　　　　円

３　消費税等の確定に伴う補助金に係る消費税等仕入控除税額　　金　　　　円

４　補助金返還相当額（３－２）　　　　　　　　　　　　　　　金　　　　円

（注）別紙として積算の内訳を添付すること。